

木馬会会報（第127号）

有馬記念特集

99/12/24

～木馬達の予想～

本誌 トウインクルダンディ

◎ナリタトップロード ○ファレノブシス ▲グラスワンダー

△ステイゴールド、スペシャルウィーク、ツルマルツヨシ、ティエムオペラオー

グラスワンダーとスペシャルウィークの一騎打ちムードの今年の有馬記念。確かに2頭とも強いが、それを認めたうえで、次の理由から本命からは外したい。

理由1 状態等

まずグラスワンダー。筋肉痛→針治療→調教マイチ→重目残り？ 昨年も調教マイチで圧勝だけに、気にすることではないかもしれないが、脚元を拘われる可能性も有るということ。人気だけに狙いづらい。

次にスペシャルウィーク。今回が引退レースとなるこの馬、そして騎乗は馬を可愛がる武豊、無理をするとは考えられない。さらに、終いの伸び脚から察するに明らかに左利き。

理由2 コース状態と展開

今年の中山は例年以上にインコースの馬場状態が悪いようで、各馬とも最終コーナー付近では外に出そうとしている。しかも今回のメンバー構成からはどう考えてもスローペース。両馬とも先行できることもないが、もっとも好走するのは後方からの競馬。小回り中山で最終コーナーで外に振られては、普通なら掲示板止まり。

そこで狙いたいのがナリタトップロード。超スローペースの菊でのG1制覇は、渡辺に自信を与えたであろうし、今回の有馬も同様の競馬が考えられるだけに、55キロで古馬を完封する可能性は十分だ。

それでもう1頭がファレノブシス。武さま騎乗なら狙わないが、今回はそれほど馬を可愛がらない蛇名騎乗。2500mは気持ち長いが、中山なら克服可能だろう。札幌記念を見る限り、牡馬との差はそれほどなさそうで、人気のない今回が狙い目だろう。

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎…グラスワンダー、○…ティエムオペラオー

△…ツルマルツヨシ、ナリタトップロード、メジロブライト

早いもので有馬記念を迎え、今年も終わろうとしています。JCのいろいろありましたが、最後はきっちりと締めたいもの。

◎グラスワンダー。毎日王冠後、筋肉痛で一頓挫あったが、まず負けることはあるまい。左回りだと負けたり、勝っても辛勝だったりだが、こと右回りなら文句なし。左回りがだめということはないと思うが、府中よりプラスなのは確か。世間ではグラス VS スペシャルと言われているが、とんでもない。宝塚を思い出して欲しい。直線で並ぶ間もなくスペシャルを差し切ったではないか。あれこそ能力の差であり、3馬身差は数字以上のものである。春天なら距離的にスペシャル有利かもしれないが、昨年の有馬圧勝をみても距離不安はない。どれだけ2着を千切るかが見物のレース。

スペシャルは京都大賞典惨敗の後、秋天・JCと連勝。追い切りがどうだの、体調が悪いだの言われている中で結果を出した。新聞等に乗せられて2戦とも無印にして痛い目にあったが、データ的にもこれまで

秋G1を3連勝した馬などいない。言ってみればG13連戦というのは過酷なわけで、JCから上積み若しくは余力があるとはとうてい考えられない。前2戦とも無印にしたので、半ば意地になって無印。

○ティエムオペラオー。ステイヤーズSはまさかの負け。負けてはいけない相手に負けたわけだが、その理由は和田の乗り方ひとつと考えたい。テレビを見る限り、雑なレースをしたまで（少なくとも個人的にはそう見えた）。ダービーは早めに動いて差されたし、菊は脚を余したような負け。どちらももったいない乗り方であるが、クラシックほど人気にならない今回ならうまく乗れるのではないか。初めて古馬と対戦した京都大賞典で3着したことから考えても能力は足りるはず。

他に印をつけるならツルマルツヨシ、ナリタトップロード、メジロブライトあたりか。しかし、ツヨシは秋天でG1の壁に直撃した感じだし、ナリタは結果は残しているが、オペラオー、ベガよりは落ちると思うし、4才で有馬で連対したグラス、ジャスティス、トップガン、ブライアンの領域には達してない。ブライトも昨年2着したが、今年はすでに峰を越した感じ。PATでは買えないが（買う気もないが）ワイド向きの△というどこか。

最後になりましたが、今年もつまらない予想にお付き合いいただきましてありがとうございました。来年もよろしくお願ひいたします。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

今年の有馬の焦点は2点。逃げ馬がまったくないことと、スペシャルウィークが秋の中・長距離G1全制覇を達成するかどうかだろう。

本当に逃げ馬がないし、掛かる馬も極端に少ないので、どれかが奇襲戦法に出る可能性も非常に低い。菊で、あまりにペースが遅かったら逃げるかもしれないと言っていたトップロードが逃げるのか？とにかく、団子状態で上がり3ハロンのレースになることは間違いないだろう。

さて、スペシャルだが、ここで勝ったら歴史的名馬である。同一年の天皇賞春・秋、ジャパンカップ、有馬を勝った馬なんていらない。外国馬が天皇賞に出れなかった時代の最後で最強の馬という称号を得られるだろう。今から考えると、天秋、JCを勝てたのは、京都大賞典で惨敗する程度しかその時点で仕上げていなかっただけであろうと思われる。その分余力があったのだろう。SS産駒の中で団子状態で強い馬ではないといいつづけてきた。それは今でも間違いでないと思っているが、調教師が、SS産駒でG1をとる方法をマスターしてきたと感じる。今後はスペシャルのような使い方をしてくる調教師が増えてくるだろう。SS産駒の番付表というのも意味がなくなった。おっと、話が脱線した。とにかく、ここで勝ったら、来年だったら二億円もらえるのだ。が、私はあえて今までの先例を尊重し、評価を落としたい。ジャパンカップ最先着馬はあるで走らないし、ましてやこれが引退レース。スプリンターズSのSフォレストじゃないが、走り終わって、「とにかく無事に走ってきたのが一番」が本音となるだろう。

グラスワンダーは筋肉痛で間隔が開いた。右回りだととてつもない強さを発揮するし、京王杯でわかるとおり、アクシデント後でも力を出せる馬である。しかしやっぱりアクシデント後の休み明け。本命には出来ない。

ということで、本命はティエムオペラオー。なんといっても、展開的、人気的に一昨年のジャスティスのように漁夫の利を得れる立場。スペシャル、グラス、ナリタはそろって早めに動き出すタイプ(特にスペシャルは右回りだとその傾向が強い)。それらから一呼吸おいて追い出せる人気に落ち着いており、スパッとした切れを存分に発揮できるだろう。実力的に足りているのは周知の事実だし、前走は断然の1番人気の重圧、2キロの斤量差が敗因であり、何ら悲観することはない。かなり面白みがあり、結構イケてるんじゃないかな。

相手はスペシャル、グラスは当然押さえる。いまだに2200m以上なら3着をはずしていないライトも当然侮れない。ステイは同じレースで好走する傾向があり、去年3着でもちろん怖い。去年のセイウンスカイはこけたが例年ほとんど連に絡む菊花賞馬トップロードももちろん強い馬。前走で株を落としたが、素直なレース振りと切れ味は只者ではないツルマルツヨシ。あとは札幌記念で牡馬相手でもそこそこ走ることが判明し、蛯名騎乗も魅力のファレノプシス。今年はなかなか面白そうだ。

◎…ティエムオペラオー

△…メジロライト、ファレノプシス、グラスワンダー、ステイゴールド
ナリタトップロード、ツルマルツヨシ、スペシャルウィーク

先週はやっと当たった。いよいよ最後になって面白くなってきたぞ。現在の回収率84.6%

予想はウソヨ 四国の井崎

さあ、年末の大一番を迎える。各部門の年度代表馬争いも熾烈なため力が入る一戦である。中山2500mの場合はあまりタイム評価はきかない。そこで四国の井崎独自のPRJCT評価も行った。

評価値 3走前 2走前 前走

メジロライト	59.7	+0.3	-0.9	+0.1 C
スペシャルウィーク	59.6	-1.6	+1.2	+0.5 AA
ナリタトップロード	59.5	-0.4	-0.6	-3.6
ツルマルツヨシ	59.3	-1.0	-0.8	+0.6
ステイゴールド	59.15	-1.5	+1.1	-0.1 B
グラスワンダー	59.1	-0.1	-0.3	-0.7
ティエムオペラオー	58.75	-0.9	-3.7	-1.1

ここはこのレースが最後となるスペシャルウィークを買う。調教ビッシリ追えて不安はない。キムタクもサヨナラとテレビCMでお別れを言っているのでラストラン馬狙いでいい。ジャパンカップ激走の心配であるが、ヒシアマゾンが人気して敗れた時の私の防忘メモにこう書いてある。ジャパンカップの激走馬は連対しない。特に2分25秒を切って連対した馬は絶対に来ない。今年もヒシアマゾンが5着に沈んだ。カツラギエース、シンボリルドルフ、タマモクロスは切っていなかった。オグリキャップ、トウカイティオー、レガシーワールドは切っていた。スペシャルウィークは2分25秒を切っていない!最終追い切りもジャパンカップより良かった。

◎…スペシャルウィーク

相手はティエムオペラオー以外の5頭へ。

(おまけ)

新潟3歳Sの出走馬に「ユウマ」という馬が1枠1番に出ていた。

1 ユウ「マ」

2 ド「リ」ームセイコー

3 「ア」イルランドシチー

1~3番の3, 2, 1番目の文字でアリマとなりユウマを漢字で充てれば有馬とかける。このクロスから1番のサインが出ていると言える。また同レース出走のベルグチケットが土曜日のフェアリーSに出走し「このサインを忘れないでね」と念をおしてくれている。1番も大事だが11頭立てだったので外出しの1番すなわち12番も注意。両方が絡むことはない。どちらか。16頭だと死枠の6枠に入るところ15頭立てになったから7枠になたのも好感。新聞CMでの7枠連対サインから12番は特注となる。

第44回 有馬記念

					15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号	馬名	
					ダイワ オーバー シュウ	ゴー イン グス ズカ	メジ ロブ ライト	メジ ロブ ライト	ファ レノブ ライト	ティ エム オペ ラオー	ツ ルマ ルツ ヨシ	フ サイ チエ アデ ール	イン ターフ ラッ グ	グラ スワン ダー	シ ンボ リイン ディ	ス テイ ゴー ルド	ユ ーセ イト ップ ラン	スペ シャ ルウ ィーク	ス エヒ ロコ マンダ ー	ナ リタ トッ プロ ード		
					柴田 善	芹 沢	河 内	蛯 名	和 田	藤 田	福 永	岡 部	的 場	横 山	熊 沢	松 永	武 豊	後 藤	渡 辺		騎手	
								○	△	△			▲		△	△	○	○	○	トウ イン クル ダン ディ		
								◎					○	○	○	○	○	○	△	△	ラッキー	
								△	○	▲			△				△	○	○	○	心配 御無用!	
									△	○	○	△		○	○	○	○	△	△	△	ライ シヤ ウシャ ワ	
										△	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	へなりん	
										△	△	○	△	△	○	○	○	○	○	○	FELA	
										▲	△	△	△	△	△	○	○	△	△	△	洋二郎	
										○	△	△	△	△	△	○	○	△	△	△	おけらくん	
										△	△	△	△	△	○	○	○	△	△	○	ドロンジョ	
										△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	ミスターX	
										△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	TP	
										○	△	△	△	△	△	△	△	○	△	○	メーブ レンズ	
											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	YO	

ス P S 有馬 フエブ 桜花 韋月 天春 NHKマ 高松オース 優駿 安田 宝塚 秋華 エリザベス C JC 阪神 朝日 ス P S	トウ イン クル ダン ディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トウ イン クル ダン ディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
心配 御無用!	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ライ シヤ ウシャ ワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
へなりん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FELA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
洋二郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おけらくん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドロンジョ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミスターX	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メーブ レンズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
YO	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…~20倍 ○…20~50倍 ☆…50倍~

次号はフェブラリーS号です。